

雲仙・小浜「おひるの森キッチン」オープン

# 障害者社会へ第一歩

障害者と健常者が一緒に働き、昼食を提供する「おひるの森キッチン」が、雲仙市小浜町にオープンした。障害者が社会と接点を持ち、一般事業所への就労を目指してステップアップする場で、関係者は多くの来店を呼び掛けている。

## 多様な作業、一般就労目指す



障害者と健常者が一緒に働く「おひるの森キッチン」 雲仙市小浜町

同町で障害者向けグループホームなどを開設している「おばまの森」(森久之社長)が、閉園した保育園の施設を改装して運営。軽作業をする「あぐとの森工房」、農作業

の手伝いなどを請け負う「ふくしの森広場」を併設しており、三つの職場を現在、市内から通う障害者5人、健常者6人で切り盛りしている。

キッチンでは、しょうが焼きやカレー、そばなど5種類のメニューを500円(税込み)で提供。障害者は本人の能力に応じて、食器洗いや米研ぎなどをしている。森社長は「障害者が社会と関わりが持てるように作業を多様化したかった。ぜひ多くの人に来てもらい、声を掛けてあげてほしい」と話している。

営業時間は午前11時～午後2時。毎週月曜、木曜は休み。(永野孝)